2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	病理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	竹内　充香	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

生体に起こる様々な病変や疾患がどのような原因でおこり(病因)、どのような変化を生じ(病変)、どのように推移し(経過)、最後にどうなるのか(転帰)など、いわゆる病変や疾患の本質を良く理解し、医療従事者としての基礎的知識を身につける。

《成績評価の方法と基準》

期末試験にて評価する(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

標準理学療法学・作業療法学 病理学 第3版

《授業外における学習方法》

授業範囲における教科書の通読を予習とし、授業後は実施した範囲の復習を行う。

《履修に当たっての留意点》

国家試験形式に基づいて解説します。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	病因について理解し、説明できる	教科書	【事前学習】シラバスを読む(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	病因論(内因と外因について理解する。)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	退行性病変、代謝異常について理解し、説明できる	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	退行性病変(変性、萎縮、壊死など)と代謝異常		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	退行性病変、代謝異常について理解し、説明できる	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	進行性病変(肥大、過形成、化生、異形成及び細胞組織の再生について)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害の病態について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	循環障害①(循環の仕組み、側副循環含む)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害の病態について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	循環障害②(局所の循環障害:虚血、充血、うっ血など、全身循環障害:ショックなど)		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫の仕組みについて理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	免疫①(免疫の概念、免疫に関与する因子・細胞、免疫応答の仕組みなど)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫の仕組みについて理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	免疫②(アレルギーの仕組みと疾患、自己免疫疾患および免疫不全など)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症の病態について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	炎症とは		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の病態について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	感染症とは(経路及び原因、標準予防対策含む)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の病態について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	腫瘍①(定義及び分類、異型度、分化度、進展形式など)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の病態について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	腫瘍②(癌と肉腫の違い、良性と悪性との違いなど)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の病態について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	腫瘍③(発癌のメカニズム、癌による死亡率や部位別癌の推移など)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化の仕組みについて理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	老化について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天異常・奇形について理解し、説明できる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	先天異常・奇形について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業で習った箇所をもう一度見直し、試験に備えることができる。	教科書	【事前学習】教科書範囲の予習。(20分) 【事後学習】本授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	まとめ		